

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書の訂正報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第4項
【提出先】	北海道財務局長
【提出日】	平成27年3月16日
【四半期会計期間】	第9期第3四半期（自平成25年10月1日至平成25年12月31日）
【会社名】	株式会社ロジネットジャパン
【英訳名】	LOGINET JAPAN CO., LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 木村 輝美
【本店の所在の場所】	札幌市中央区大通西8丁目2番地6
【電話番号】	札幌011(251)7755(代表)
【事務連絡者氏名】	企画担当部長 橋本 潤美
【最寄りの連絡場所】	札幌市中央区大通西8丁目2番地6
【電話番号】	札幌011(251)4112
【事務連絡者氏名】	企画担当部長 橋本 潤美
【縦覧に供する場所】	証券会員制法人札幌証券取引所 (札幌市中央区南1条西5丁目14番地の1)

1【四半期報告書の訂正報告書の訂正理由】

1. 訂正の経緯

当社は、平成27年2月5日取締役会決議により、平成27年2月6日に当社と利害関係を有しない外部の専門家から構成される第三者委員会を設置し、グループ間取引の適切性について調査を進めてまいりました。今般、平成27年3月6日付第三者委員会の調査報告を受け、財務諸表の修正等必要と認められる訂正を行うことといたしました。

2. 会計処理

四半期連結財務諸表におけるのれん及び固定資産の評価の見直しを行い、セグメント情報の修正、その他必要と認められる修正を行いました。

これらの決算訂正により、当社が平成26年2月14日に提出いたしました第9期第3四半期（自平成25年10月1日至平成25年12月31日）に係る四半期報告書、平成26年5月19日に提出いたしました四半期報告書の訂正報告書の一部を訂正する必要が生じたので、金融商品取引法第24条の4の7第4項の規定に基づき、当該訂正報告書を提出するものであります。

なお、訂正後の四半期連結財務諸表につきましては、有限責任監査法人トーマツにより四半期レビューを受けており、その四半期レビュー報告書を添付しております。

また、四半期連結財務諸表の記載内容に係る訂正箇所については、XBRLの修正も行いましたので併せて修正後のXBRL形式のデータ一式(表示情報ファイルを含む)を提出いたします。

2【訂正事項】

第一部 企業情報

第1 企業の概況

1 主要な経営指標等の推移

第2 事業の状況

3 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析

第4 経理の状況

1 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

四半期連結包括利益計算書

注記事項

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

(セグメント情報等)

(1株当たり情報)

3【訂正箇所】

訂正箇所は_____線で示しております。

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

(訂正前)

回次	第8期 第3四半期連結 累計期間	第9期 第3四半期連結 累計期間	第8期
会計期間	自平成24年 4月1日 至平成24年 12月31日	自平成25年 4月1日 至平成25年 12月31日	自平成24年 4月1日 至平成25年 3月31日
営業収益(千円)	37,533,598	38,660,661	49,220,273
経常利益(千円)	875,763	530,884	810,716
四半期(当期)純利益(千円)	531,865	359,613	413,586
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	443,749	465,911	725,201
純資産額(千円)	6,943,769	7,595,476	7,221,665
総資産額(千円)	32,960,989	32,319,254	30,933,351
1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	41.26	29.44	32.50
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	20.7	23.2	23.0

回次	第8期 第3四半期連結 会計期間	第9期 第3四半期連結 会計期間
会計期間	自平成24年 10月1日 至平成24年 12月31日	自平成25年 10月1日 至平成25年 12月31日
1株当たり四半期純利益(円)	15.00	24.98

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額は、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

3. 営業収益には消費税等は含んでおりません。

(訂正後)

回次	第8期 第3四半期連結 累計期間	第9期 第3四半期連結 累計期間	第8期
会計期間	自平成24年 4月1日 至平成24年 12月31日	自平成25年 4月1日 至平成25年 12月31日	自平成24年 4月1日 至平成25年 3月31日
営業収益(千円)	37,533,598	38,660,661	49,220,273
経常利益(千円)	875,763	580,949	827,405
四半期(当期)純利益(千円)	589,476	409,610	713,192
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	677,590	515,908	411,180
純資産額(千円)	5,822,428	6,518,694	6,094,886
総資産額(千円)	31,839,647	31,262,330	29,806,572
1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	45.73	33.53	56.05
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	17.9	20.5	20.1

回次	第8期 第3四半期連結 会計期間	第9期 第3四半期連結 会計期間
会計期間	自平成24年 10月1日 至平成24年 12月31日	自平成25年 10月1日 至平成25年 12月31日
1株当たり四半期純利益(円)	73.40	25.01

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載していません。
2. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額は、潜在株式が存在しないため記載していません。
3. 営業収益には消費税等は含んでいません。
4. 第9期第1四半期連結累計期間の数値は、誤謬の訂正による遡及処理後の数値であります。また過年度の決算訂正を行い、平成26年5月19日及び平成27年3月13日に訂正報告書を提出しております。

第2【事業の状況】

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(訂正前)

(1)業績の状況

(省略)

営業収益につきましては、貨物自動車運送部門をはじめ各部門とも堅調に推移したことにより、前年同期比11億2千7百万円増(3.0%)の386億6千万円となりました。

利益面につきましては、増収による押し上げ効果はあったものの、原油価格の上昇による燃料費や航送料の負担増、外部経費の増加などにより、営業利益は前年同期比2億3千2百万円減(30.8%)の5億2千2百万円となりました。また、前年は車両売却益等の計上があったことなどから、経常利益は前年同期比3億4千4百万円減(39.4%)の5億3千万円となりました。

これらに、札幌通運㈱における賃貸駐車場の売却益3億1千9百万円の計上があったものの、前年は札幌通運㈱における旧本社ビルの売却に伴う固定資産売却益8億1千7百万円、札幌通運㈱倉庫支店大曲営業所における減損損失3億6千7百万円を含む減損損失4億1百万円等の計上があったことなどから、四半期純利益につきましては、前年同期比1億7千2百万円減(32.4%)の3億5千9百万円となりました。

(省略)

青山本店グループ

当社グループを構成する青山本店グループでは、倉庫部門に関連する貨物自動車運送事業が減収となったことにより、営業収益は前年同期比8億2千8百万円減(14.2%)の50億1千8百万円となりました。

一方、セグメント利益(営業利益)につきましては、上記減収の影響に加え外部費用が突出したことなどから、前年同期比3億4百万円減少し、2億3千5百万円の営業損失となりました。

(訂正後)

(1)業績の状況

(省略)

営業収益につきましては、貨物自動車運送部門をはじめ各部門とも堅調に推移したことにより、前年同期比11億2千7百万円増(3.0%)の386億6千万円となりました。

利益面につきましては、増収による押し上げ効果はあったものの、原油価格の上昇による燃料費や航送料の負担増、外部経費の増加などにより、営業利益は前年同期比1億8千2百万円減(24.2%)の5億7千2百万円となりました。また、前年は車両売却益等の計上があったことなどから、経常利益は前年同期比2億9千4百万円減(33.7%)の5億8千万円となりました。

これらに、札幌通運㈱における賃貸駐車場の売却益3億1千9百万円の計上があったものの、前年は札幌通運㈱における旧本社ビルの売却に伴う固定資産売却益8億1千7百万円、札幌通運㈱倉庫支店大曲営業所及び㈱ロジネットジャパン西日本における減損損失15億1千8百万円等の計上があったことなどから、四半期純利益につきましては、前年同期比9億9千9百万円増(前年同期は5億8千9百万円の純損失)の4億9百万円となりました。

(省略)

青山本店グループ

当社グループを構成する青山本店グループでは、倉庫部門に関連する貨物自動車運送事業が減収となったことにより、営業収益は前年同期比8億2千8百万円減(14.2%)の50億1千8百万円となりました。

一方、セグメント利益(営業利益)につきましては、上記減収の影響に加え外部費用が突出したことなどから、前年同期比3億6千1百万円減少し、2億9千2百万円の営業損失となりました。

第4【経理の状況】

経理の状況

(訂正前)

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間(平成25年10月1日から平成25年12月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表について有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

(訂正後)

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間(平成25年10月1日から平成25年12月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表について有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

なお、金融商品取引法第24条の4の7第4項の規定に基づき、四半期報告書の訂正報告書を提出しておりますが、訂正後の四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツにより四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(訂正前)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,988,991	3,392,029
受取手形	890,066	1,060,591
営業未収入金	5,796,107	6,011,397
たな卸資産	65,395	90,805
繰延税金資産	128,879	59,696
その他	1,233,257	1,500,536
貸倒引当金	8,929	8,865
流動資産合計	10,093,769	12,106,191
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,385,891	4,199,263
機械装置及び運搬具(純額)	3,570,377	3,496,623
土地	6,796,320	6,630,920
その他(純額)	942,449	1,070,335
有形固定資産合計	15,695,039	15,397,142
無形固定資産		
のれん	983,840	944,487
その他	210,041	210,550
無形固定資産合計	1,193,882	1,155,037
投資その他の資産		
投資有価証券	1,311,915	1,000,505
繰延税金資産	175,166	182,253
差入保証金	1,776,752	1,832,198
その他	748,075	709,492
貸倒引当金	61,249	63,567
投資その他の資産合計	3,950,660	3,660,883
固定資産合計	20,839,582	20,213,062
資産合計	30,933,351	32,319,254

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形	808,927	870,200
営業未払金	4,615,944	4,823,966
短期借入金	9,539,440	10,271,260
未払法人税等	496,933	344,706
役員賞与引当金	43,075	-
資産除去債務	44,898	-
その他	2,087,150	2,588,891
流動負債合計	17,636,369	18,899,024
固定負債		
長期借入金	4,693,439	4,330,320
繰延税金負債	273,109	247,266
退職給付引当金	173,117	185,296
役員退職慰労引当金	155,940	181,910
資産除去債務	73,345	74,419
その他	706,365	805,541
固定負債合計	6,075,316	5,824,753
負債合計	23,711,686	24,723,778
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000,000	1,000,000
資本剰余金	557,007	557,007
利益剰余金	6,149,258	6,423,352
自己株式	531,623	532,652
株主資本合計	7,174,642	7,447,707
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	58,023	39,442
その他の包括利益累計額合計	58,023	39,442
少数株主持分	105,046	108,326
純資産合計	7,221,665	7,595,476
負債純資産合計	30,933,351	32,319,254

(訂正後)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,988,991	3,392,029
受取手形	890,066	1,060,591
営業未収入金	5,796,107	6,011,397
たな卸資産	65,395	90,805
繰延税金資産	104,864	53,591
その他	1,233,257	1,500,536
貸倒引当金	8,929	8,865
流動資産合計	10,069,754	12,100,087
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,309,903	4,128,392
機械装置及び運搬具(純額)	3,570,377	3,496,623
土地	6,790,324	6,624,923
その他(純額)	907,390	1,040,870
有形固定資産合計	15,577,995	15,290,810
無形固定資産		
その他	210,041	210,550
無形固定資産合計	210,041	210,550
投資その他の資産		
投資有価証券	1,311,915	1,000,505
繰延税金資産	173,287	182,253
差入保証金	1,776,752	1,832,198
その他	748,075	709,492
貸倒引当金	61,249	63,567
投資その他の資産合計	3,948,781	3,660,883
固定資産合計	19,736,818	19,162,243
資産合計	29,806,572	31,262,330

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形	808,927	870,200
営業未払金	4,615,944	4,823,966
短期借入金	9,539,440	10,271,260
未払法人税等	496,933	364,563
役員賞与引当金	43,075	-
資産除去債務	44,898	-
その他	2,087,150	2,588,891
流動負債合計	17,636,369	18,918,882
固定負債		
長期借入金	4,693,439	4,330,320
繰延税金負債	273,109	247,266
退職給付引当金	173,117	185,296
役員退職慰労引当金	155,940	181,910
資産除去債務	73,345	74,419
その他	706,365	805,541
固定負債合計	6,075,316	5,824,753
負債合計	23,711,686	24,743,635
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000,000	1,000,000
資本剰余金	557,007	557,007
利益剰余金	5,022,480	5,346,571
自己株式	531,623	532,652
株主資本合計	6,047,863	6,370,925
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	58,023	39,442
その他の包括利益累計額合計	58,023	39,442
少数株主持分	105,046	108,326
純資産合計	6,094,886	6,518,694
負債純資産合計	29,806,572	31,262,330

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(訂正前)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
営業収益	37,533,598	38,660,661
営業原価	35,354,203	36,887,598
営業総利益	2,179,394	1,773,062
販売費及び一般管理費	1,424,028	1,250,339
営業利益	755,366	522,723
営業外収益		
受取利息	13,071	12,385
受取配当金	41,311	28,025
寮収入	37,298	33,149
補助金収入	17,991	37,929
車両売却益	114,464	11,082
その他	97,066	60,646
営業外収益合計	321,203	183,217
営業外費用		
支払利息	109,032	92,972
寮支出	72,789	63,725
その他	18,984	18,358
営業外費用合計	200,806	175,057
経常利益	875,763	530,884
特別利益		
固定資産売却益	817,418	319,605
投資有価証券売却益	-	89,195
特別利益合計	817,418	408,801
特別損失		
固定資産除売却損	53,649	13,684
減損損失	401,019	-
その他	68,544	776
特別損失合計	523,213	14,460
税金等調整前四半期純利益	1,169,968	925,224
法人税、住民税及び事業税	594,843	503,310
法人税等調整額	29,692	53,468
法人税等合計	624,535	556,779
少数株主損益調整前四半期純利益	545,432	368,445
少数株主利益	13,567	8,832
四半期純利益	531,865	359,613

(訂正後)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
営業収益	37,533,598	38,660,661
営業原価	35,354,203	36,878,566
営業総利益	2,179,394	1,782,095
販売費及び一般管理費	1,424,028	1,209,306
営業利益	755,366	572,788
営業外収益		
受取利息	13,071	12,385
受取配当金	41,311	28,025
寮収入	37,298	33,149
補助金収入	17,991	37,929
車両売却益	114,464	11,082
その他	97,066	60,646
営業外収益合計	321,203	183,217
営業外費用		
支払利息	109,032	92,972
寮支出	72,789	63,725
その他	18,984	18,358
営業外費用合計	200,806	175,057
経常利益	875,763	580,949
特別利益		
固定資産売却益	817,418	319,605
投資有価証券売却益	-	89,195
特別利益合計	817,418	408,801
特別損失		
固定資産除売却損	53,649	13,684
減損損失	1,518,592	-
その他	68,544	776
特別損失合計	1,640,786	14,460
税金等調整前四半期純利益	52,395	975,289
法人税、住民税及び事業税	594,843	523,167
法人税等調整額	33,461	33,679
法人税等合計	628,304	556,846
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失 ()	575,908	418,442
少数株主利益	13,567	8,832
四半期純利益又は四半期純損失 ()	589,476	409,610

【四半期連結包括利益計算書】

【第3四半期連結包括利益計算書】

(訂正前)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	545,432	368,445
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	101,682	97,465
その他の包括利益合計	101,682	97,465
四半期包括利益	443,749	465,911
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	429,667	457,077
少数株主に係る四半期包括利益	14,082	8,834

(訂正後)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	575,908	418,442
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	101,682	97,465
その他の包括利益合計	101,682	97,465
四半期包括利益	677,590	515,908
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	691,673	507,074
少数株主に係る四半期包括利益	14,082	8,834

【注記事項】

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

(訂正前)

(省略)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
減価償却費	1,009,966千円	915,331千円
のれんの償却額	39,353	39,353

(訂正後)

(省略)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
減価償却費	1,009,966千円	913,651千円
のれんの償却額	39,353	-

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)

(訂正前)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	札幌通運 グループ	中央通運 グループ	青山本店 グループ	計		
営業収益						
外部顧客への営業収益	28,747,376	4,619,512	5,018,256	38,385,144	275,516	38,660,661
セグメント間の内部営業収益 又は振替高	3,600,724	366,174	771,392	4,738,291	630,785	5,369,076
計	32,348,100	4,985,687	5,789,648	43,123,435	906,302	44,029,738
セグメント利益又は損失 ()	637,433	214,812	235,528	616,717	171,617	788,335

(注) 「その他」は、持株会社である当社の営業収益及びセグメント利益であります。営業収益は本社ビルの賃貸収入、飲料水の販売収入、グループ会社からの受取配当金及び経営指導料であり、受取配当金がセグメント利益に与える影響額は222,138千円であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	616,717
「その他」の区分の利益	171,617
受取配当金の消去	222,138
のれんの償却額	39,353
その他の調整額	4,119
四半期連結損益計算書の営業利益	522,723

(訂正後)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	札幌通運 グループ	中央通運 グループ	青山本店 グループ	計		
営業収益						
外部顧客への営業収益	28,747,376	4,619,512	5,018,256	38,385,144	275,516	38,660,661
セグメント間の内部営業収益 又は振替高	3,609,439	366,174	755,862	4,731,476	630,785	5,362,262
計	32,356,815	4,985,687	5,774,118	43,116,621	906,302	44,022,924
セグメント利益又は損失 ()	661,679	214,812	292,791	583,700	215,346	799,047

(注) 「その他」は、持株会社である当社の営業収益及びセグメント利益であります。営業収益は本社ビルの賃貸収入、飲料水の販売収入、グループ会社からの受取配当金及び経営指導料であり、受取配当金がセグメント利益に与える影響額は222,138千円であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	583,700
「その他」の区分の利益	215,346
受取配当金の消去	222,138
その他の調整額	4,119
四半期連結損益計算書の営業利益	572,788

(1株当たり情報)

(訂正前)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
1株当たり四半期純利益金額	41円26銭	29円44銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	531,865	359,613
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	531,865	359,613
普通株式の期中平均株式数(千株)	12,889	12,215

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(訂正後)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
1株当たり四半期純利益金額	45円73銭	33円53銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	589,476	409,610
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	589,476	409,610
普通株式の期中平均株式数(千株)	12,889	12,215

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

【当年ノレビュー報告書】

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成27年3月12日

株式会社ロジネットジャパン

取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 香川 順 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 津村 陽介 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ロジネットジャパンの平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成25年10月1日から平成25年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年12月31日まで）に係る訂正後の四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ロジネットジャパン及び連結子会社の平成25年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

その他の事項

四半期報告書の訂正報告書の提出理由に記載されているとおり、会社は、連結財務諸表を訂正している。なお、当監査法人は、訂正前の連結財務諸表に対して平成26年2月12日に四半期レビュー報告書を提出した。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上